平成　23　年度　　# 事務事業マネジメントシート　　作成日　平成　23　年　7　月　22　日作成

事務事業名	コード 35260	鳥獣被害対策（市単＋鳥獣被害防止体制）				
政策名	総合計画体系 03	地域を活かし魅力ある煌めくまち	所属部	産業観光部	所属課	農林振興課
施策名	02	産業の振興	所属係	農業振興担当	課長名	田本　旨且
基本事業名	01	農林業の振興			電話番号	72-7617
					（内線）	771-144
予算科目	会計 01 / 款 5 / 項 1 / 目 3	農業振興費	法令根拠	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律(平成19年法律第134号)		
事業期間	☐ 単年度のみ　☑ 単年度繰返 ↳（ 開始年度　不明　年度 ～ ）　☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳（　年度 ～　年度 ）					

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成十九年法律第百三十四号）に基づき、三好市鳥獣被害防止対策協議会が鳥獣被害対策に伴う事業を行い、主たる事務担当及び会計担当を農林振興課で行う。
三好市内の区域において、テレメトリー調査の実施・モンキードッグの育成・農地の獣害対策防護柵の設置等を行う。

全体計画（期間限定複数年度のみ）　（単位；千円）

総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金
			都道府県支出金
			地方債
			その他
			一般財源
		事業費計（A）	0
	人件費	正規職員従事人数	
		延べ業務時間	
		人件費計（B）	0
	トータルコスト(A)＋(B)		0

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

20年度実績（20年度に行った主な活動）
県単モデル事業の実施（テレメトリー調査・講習会開催・追払い道具配布・モンキードッグによる追払い・緩衝地帯設置・猿落君展示圃設置　等）
県単・市単鳥獣害対策事業の実施

21年度計画（21年度に計画している主な活動）
鳥獣害防止総合対策事業

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
農家、鳥獣被害防止対策会及び農村集落

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
中長期的視野に立った野生鳥獣による被害防止の基本的な方向性の検討・実践を促進するとともに、モデル集落における集落ぐるみで行う鳥獣被害防止活動を促進し、的確な体制整備や防止対策をすすめる。

④ 結果（どんな結果に結び付けるのか）
鳥獣被害農家の減少
農林業収益の増大
農家の経営の安定、地域農業の振興

⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	農家戸数	戸
イ	防止対策地区数	地区
ウ	防止対策ほ場数	箇所

⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	農家戸数	戸
イ	防止対策地区数	地区
ウ	防止対策ほ場数	箇所

⑦ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	被害減少農家数	戸
イ	被害減少ほ場数	箇所
ウ		

⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア		
イ		
ウ	認定農業者数	経営体

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（実績）	23年度（見込）	24年度（成行予測）	25年度（成行予測）	26 年度（成行予測）
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円	600		6,012	15,230	7,615		
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	669	500	3,950	41,626	41,626	41,626	41,626
	事業費計（A）	千円	1,269	500	9,962	56,856	49,241	41,626	41,626
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	人件費計（B）	千円	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
トータルコスト(A)＋(B)		千円	5,069	4,300	13,762	60,656	53,041	45,426	45,426
活動指標	ア	戸	4,500	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
	イ	地区	0	0	0	0	0	0	0
	ウ	箇所	0	0	0	0	0	0	0
対象指標	ア	戸	4,500	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	4,400
	イ	地区	0	0	0	0	0	0	0
	ウ	箇所	0	0	0	0	0	0	0
成果指標	ア	戸	0	0	0	0	0	0	0
	イ	箇所	0	0	0	0	0	0	0
	ウ								
上位成果指標	ア								
	イ								
	ウ	経営体	78	80	81				

事務事業名	鳥獣被害対策（市単＋鳥獣被害防止体制）	所属部	産業観光部	所属課	農林振興課

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

野生鳥獣等による農作物被害の発生

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

近年、あらゆる事業等によって、農地を電気柵等で囲い、合わせて集落の研修などを行うことを池田南部地区を中心に進めてきた。
集落内の点検を行うことや、追い払いに対する意識や手法の研修などにより、かなりの地域で農作物被害は減少している。
今後は、市内各地域において対策を推し進めていく必要がある

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

一生懸命に育てた農作物も、サルの群れが来たら一瞬の間に全滅になる。どうにかしてほしい。
イノシシに掘り返されてヌタ場にされると農業をする気がなくなってしまう。

2　評価の部（SEE）＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市（町）の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☑ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 結びついている ⇒【理由】 市総合計画及び農業振興計画に基づいて実施している
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市（町）が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 農業者の営農意欲を維持していく必要がある
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 三好市全域で対策を行う
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☑ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 被害に遭っている農家は依然として多い。経費を出来るだけ安く、効果のある対策を周知推進していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 影響有 ⇒【その内容】 農業被害の増大とそれに伴う野生鳥獣の増加 営農意欲の減退とそれに伴う健康減退
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある （具体的な手段，事務事業） ☑ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他の振興施策（耕作放棄地対策など）と連携して実施することは必要性がある ☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 むしろ増大の必要があると思われる
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 市域の全域で鳥獣被害は発生している
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 全農家を対象にしている

事務事業名	鳥獣被害対策（市単＋鳥獣被害防止体制）	所属部	産業観光部	所属課	農林振興課

3　評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）（PLAN）

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括（振り返り、反省点）

農地を守る対策の手立ては業者任せではなく、農業者自らが正しい知識と工夫によって、より安く・より強固な対策ができるようタイアップして進めていく

(3) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止　☐ 休止　☐ 目的再設定　☐ 事業統廃合・連携　☐ 事業のやり方改善（有効性改善）
☐ 事業のやり方改善（効率性改善）　☐ 事業のやり方改善（公平性改善）
☑ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(4) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策